

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成21年度病害虫発生予察 防除情報第19号

施設野菜（果菜類） タバココナジラミ

きゅうり、トマトにおいてタバココナジラミの発生が多い傾向にあり、今作の施設野菜（果菜類）において多発生が懸念されます。下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

11月上旬の巡回調査におけるコナジラミ類の調査では、きゅうりでの寄生葉率は18.1%（平年4.0%）、発生圃場率は87.5%（平年57.1%）、トマトでの寄生株率は6.4%（平年1.6%）、発生圃場率は50.0%（平年31.3%）とやや多い発生であった(図)。

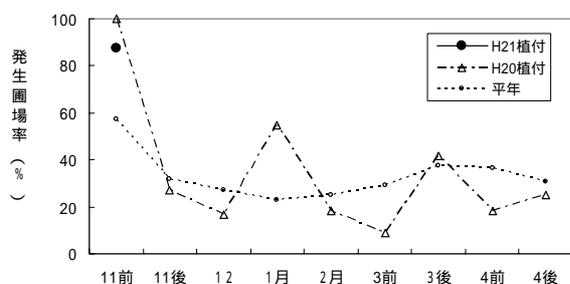


図1 キュウリコナジラミ類 発生圃場率の推移 (巡回調査)

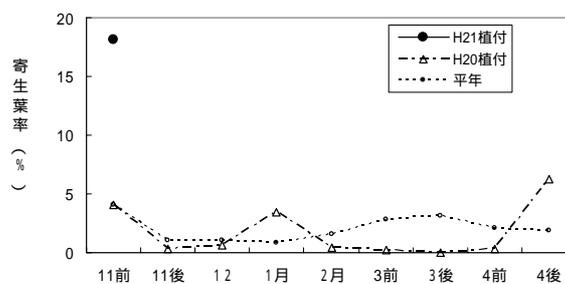


図2 キュウリコナジラミ類 寄生葉率の推移 (巡回調査)

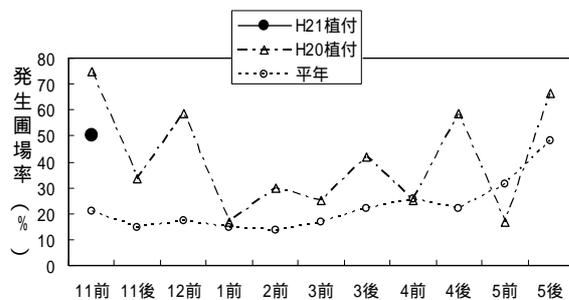


図3 トマトコナジラミ類 発生圃場率の推移

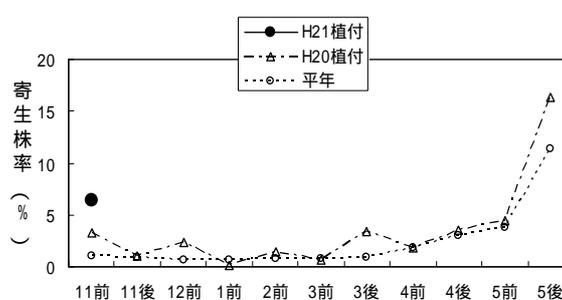


図4 トマトコナジラミ類 寄生株率の推移

2. 防除対策

- (1) 本虫が媒介するウイルス病（キュウリ退緑黄化病、トマト黄化葉巻病）は、特に生育初期の感染防止が重要である。また、茎葉が繁茂すると薬剤防除が困難になるので、生育初期に防除を徹底する。
- (2) 本虫は強い薬剤抵抗性を持つので、薬剤の選定にあたっては十分留意する。また薬剤抵抗性対策のため、同一系統の薬剤は連用しない。
- (3) マルハナバチを使用するハウスでは、影響の少ない薬剤を使用する。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027